

アセスメントシート

氏名

福井 太一

記入 相談支援専門員

若狭 はやと

	項目		介助が いるか	程度	項目		介助が いるか	程度
日常生活面	起居動作	起き上がり	☐		衛生保持	手洗い	☐	
		寝返り	☐			爪切り	☐	
	姿勢保持	座位	☐			耳掃除	☐	
		立位	☐			月経	☐	
	移動	屋内	☐		行 排 為 泄	排尿	☐	
		屋外 (徒歩)	☐			排便	☐	
	衣類着脱	着脱行為	☐		食事全般	飲食行為	☐	
		服装の選択	☐				食事状況	☐
	整容行為						食事の後片付け	☐
						調理全般	調理	☐
		歯磨き	☐				安全確認	☐
		洗顔	☐		入浴全般	入浴の準備 と片付け	☐	
		整髪	☐				入浴	☐
		ひげ剃り	☐		家事全般	洗濯	☒	やったことがないので支援が必要
	化粧	☐				洗濯物干し	☒	やったことがないので支援が必要
						掃除	☒	やったことがないので支援が必要
					衣類整理	☐		
					所持品整理	☐		
					ペットメイク	☐		
	特記事項							
病状の悪化時には妄想による行動を行うことで精一杯になってしまい、日常生活でやらなければならない事や金銭の管理等が全然できなくなってしまう。家事の経験がないので援助があればできるようになると予測できる。(入院中の作業療法の評価から推測)朝起きるのが苦手なので、就労Bの事業所に通う時には遅刻が頻回になることが心配される。 過去に通院や服薬について自己中断してしまう事が続いた。服薬を始めると状態は落ち着くが、妄想がスッキリとなくなる事はない様子。しかし、妄想に振り回されるような大胆な行動はなくなる。								
コミュニケーション	困ったときに相談しているところ 生活上の支援機関、支援者など ・相談支援センター「ひまわり」…………サービス等利用計画作成について ・就労センター「スマイル」…………退院後に利用予定の就労継続B型事業所 ・グループホーム「ピアハウス」…………退院後に利用予定のグループホーム ・西村病院(内科・精神科)…………入院時の病院(通院予定) 意思の表現方法 言葉でのコミュニケーションが十分できる。仕事をしていた時は、地元の仲間と月に1回バスケットボールをしていて友人も多かったとのこと。その時は彼女もいたというので、もともとコミュニケーションをとるのが上手かったのではないかと思います。入院中も同じ年齢くらいの患者さんと院外の喫茶店に行ったり作業療法のプログラムも仲のいい患者さんと参加されていたことを考えるとコミュニケーションをとるのは上手。以前は携帯電話でメールのやり取りも行っていた。人に好かれるタイプで入院中は特に年上の人に可愛がられている。							

社会参加・移動	好きなこと ドライブ・バスケットボール・音楽鑑賞・買い物(服)・携帯のゲーム 嫌いなこと うるさい場所・不良っぽい人 移動の方法 徒歩・公共交通機関 ※普通自動車免許証があるので車と原付の運転ができる。				
家庭生活	どこでだと暮らしているか？ 退院後はグループホームで生活をする予定。 家庭での主な介護者 父親 介護者の状況 父親は会社員で、本人が病状の悪化時には色々な支援を行ってきたがすでに限界。				
経済状況	主な生活財源 退院後は生活保護の受給予定。 就労による収入 預貯金 0円／月 0円 □ 基礎年金 申請中 □ 障害者特別手当 □ その他 補足給付:家賃10,000円(申請中)				
行動面	行動面での障害1	項目	介助が いるか	程度	特記事項 病状によって行動面や感情面が大きく左右されてしまう。逆に病状が安定すれば多くのことができて自立した生活が出来る。病状が悪くならなければ多くのことにチャレンジできると思われるが、悪化すると妄想に基づく行動をとってしまい、東京等に行ってしまうことが予想される。以前に病状が悪化した時には服薬をしていなかったこともあるが、部屋に引きこもって食事を摂らずに寝ていなかったことで病状の悪化が加速して東京に行ってしまうと補導されたと父からの情報がある。このことから服薬はもちろん必要だが、それ以外に、睡眠時間の確保と食事がしっかりとれることも大事であると思われる。 芸能事務所にスカウトされているという妄想は消えることなく残っているが、あてもなく東京に行ってしまうことには懲りていると本人は言う。「また入院するのは懲り懲りなので、あてもなく遠くに行くことはしない」と語る。
		こだわり行動	☐		
		徘徊	☐		
		無断外出 無断外泊	☒	病状の悪化時にはあてもなく県外にいつお金がなくなり保護される。	
		錯覚・幻視・幻聴	☒	幻聴あり「東京に来い」「のろま」などなど	
		被害妄想	☒	近所の人たちからバカにされていると思っている。	
		自殺願望・企画	☒	病状の悪化時にはうつ状態になって、自殺を考えてしまう時もあるというが、行動に移したことはない。	
		不潔行為	☐		
		異食行為	☐		
		収集癖	☐		
		物忘れ	☒	病状の悪化時には、他人が言った事のほとんどを覚えていないことがある。	
		反社会的行為 (盗癖、虚言など)	☐		
	行動面での障害2	自傷行為	☐		
		他者に対する 粗暴行為	☐		
		器物に対する 粗暴行為	☐		
		奇声や騒がしさ	☐		
		パニック	☐		
		多動・行動の停止	☐		
		思考障害	☒	病状の悪化時には考えがまとまらず、最終的には思考停止になるとのこと。	
		感情・障害・思考	感情不安定	☒	
過大・過小評価	☒		病状の悪化時には「なんでも出来る」気になるとのこと。		

《その他》
主治医からは、病状が悪化しそうになった時に本人からSOSが出せるような場所(人)と、周りが気づける関係性ができる、入院せずに外来治療で乗り切れると思われるとのこと。そのためには生活の場でのサポート体制は欠かせない。本人もこんな時はここに電話を下さいと伝えておけばSOSを言えて安心できると言う。院内では数日前から服薬の自己管理を行い始めたが上手く出来ている。
母とはたまに連絡を取っているとのこと。かかりつけの精神科病院が同じ。